

平成29年度事業者主導型リスクコミュニケーション事業実施結果  
【 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 蔵王工場】

宮城県環境生活部環境対策課

1 はじめに

化学物質は、私たちが日常生活をおくる上で必要不可欠な存在ですが、一方で、環境中の化学物質が人や動植物に悪影響を及ぼすレベルにならないよう適切な管理や取扱いを行われなければなりません。

事業者による自主的な化学物質の排出削減や適正管理も重要ですが、より合理的に環境リスクを管理し削減するためには、事業者、地域住民、行政が化学物質等に関する情報を共有し、意見交換を通じて意思疎通と相互理解を図る「リスクコミュニケーション」の取組が有効です。

今年度は事業者主導型リスクコミュニケーションとして、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社蔵王工場で開催しました。

2 開催概要

(1) 事業者 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社蔵王工場

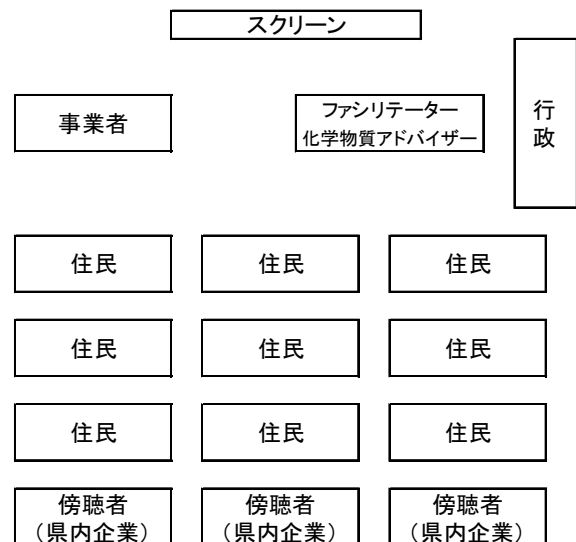
所在地：宮城県刈田郡蔵王町宮字南川添1-1

(2) 日時 平成30年3月5日(月)

午後2時から午後4時まで

3 出席者

	合計	63名
(1) 参加者	計	48名
地域住民		35名
事業者		5名
白石市		1名
蔵王町		2名
宮城県		2名
仙南保健所		1名
化学物質アドバイザー		1名
ファシリテーター		1名
(2) 傍聴者(県内事業者)		15名



<会場設置概略図>

4 プログラム

【司会：ファシリテーター】

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| (1) 開催挨拶             | (コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社) |
| (2) リスクコミュニケーション事業説明 | (宮城県)                 |
| (3) 化学物質に関するセミナー     | (化学物質アドバイザー)          |
| (4) 企業紹介・環境への取り組み等   | (コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社) |
| (5) 工場見学             | (コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社) |
| (6) 意見交換             | (コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社) |
| (7) 閉会               |                       |

## 5 意見交換会の概要

住民代表者からの質問や意見に対する回答は、次のとおりでした。

(1) 工場で使用している水について。用水としての利用から排水までの一連の流れについて教えてください。

### 【事業者】

地下水の井戸が10本あり、10本のうち7本を使用しています。一日に汲み上げる地下水は最大で3,500tになります。排水処理は、バクテリアで処理した後、工場内の池を通過した後、白石川に排水しています。安全性を確認する観点から工場の池で鯉を飼っており、排水に問題がないことを確認しています。

(2) ペットボトルとキャップのリサイクルについて教えてください。

### 【事業者】

ペットボトルのリサイクルについては、工場見学の際に皆様もご覧になったと思いますが、我々のユニフォームなど、積極的にリサイクルを行っています。

(3) 自然エネルギーへの取り組みについて教えてください。

### 【事業者】

工場の屋根に太陽光パネルを設置しています。

### 【ファシリテーター】

工場の入り口に太陽光パネルを設置した写真と、現在どの程度、発電しているかが分かるモニターが設置されています。お帰りの際にでも見て帰ってください。

(4) なぜ、工場をこの場所に建設したのか教えてください。

### 【事業者】

当時の仙台コカ・コーラボトリング株式会社は、福島県、宮城県及び山形県を事業担当エリアとしていました。高速道路のインターが近く、3県の間位置していることで、この場所に工場を建設しました。現在も交通の便や環境面でも非常に優れた基幹工場の1つとして活躍しております。

(5) コカ・コーラのボトル形状が女性をモチーフにしていると聞いたことがあるが本当ですか。

また、コカ・コーラの「コカ」の意味を教えてください。

### 【事業者】

ボトルの形状はカカオ豆をイメージしたもの、また暗闇で触ってもコカ・コーラだと分かる形状として作成されました。

コカの意味については、特別な意味はありません。語感の良さなどから製品名として使用されています。

(参考：日本コカ・コーラ株式会社HP)

<http://secure-j.cocacola.co.jp/info/faq/detail.htm?faq=17995>

(6) 近隣の施設から悪臭や音が気になる。また、ゴミが散乱している。

### 【ファシリテーター】

こちらの質問は本工場ではなく、近くにあるリサイクル施設の件だと思われますので、行政側に伝えさせていただくことにさせていただきます。

今後、何かあれば、いつ臭いがしたかなど市町の環境部局へ伝えれば対応しやすいと思います。

(7) コカ・コーラは、どのくらい飲んでも大丈夫なのか教えてください。また、コカ・コーラを飲むと太る、歯が溶けるといったことは本当ですか。

【事業者】

先ほどビデオを見て頂いたとおり、炭酸が口を通過するのは僅かな時間なのでその時間で歯が溶ける、ということはありません。また、太るということについては個人差もあるので、一概にどのくらいの量とは申し上げられません。

【ファシリテーター】

こちらの質問に対しては、お配りしている「ハローコカ・コーラ」の36ページあたりに書いてあるので、時間あれば読んでください。

【化学物質アドバイザー】

砂糖などの糖類は、脳を働かせるために必要なものです。ただし、糖類を取り過ぎると、糖尿病になったり、太ったりしてしまうため、バランス良く摂取する必要があります。

(8) 雨水管の破損による化学物質の漏洩は大丈夫なのでしょうか。また、リスクアセスメントの実施状況を教えてください。

【事業者】

化学物質を貯蔵しているタンクには遮断弁があり、問題が起きても外部に流出することはない、工場内部に留まる仕組みとなっています。

リスクアセスメントに関しては、当工場では、ISO14001の認証を取得しており、適切に実施しているところであります。

【ファシリテーター】

ISOというのは、外部の第三者が認証するものとなっており、実際に工場を調査し、適合しているかどうかを判断するものとなっています。

(9) 余った製品はどうなるのか教えてください。

【事業者】

実際に製品が余ることはあります。賞味期限が切れた製品は産業廃棄物として適切に廃棄処分をしています。

(10) ハラスメントへの対応、低減するような対策は行っているのか教えてください。また、企業市民とはどういう意味か教えてください。

【事業者】

ハラスメントについては、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントなど様々な形があり、あってはならないものとして弊社内でも社員向けの研修等を行い、様々な未然予防策を講じています。内部通報に関して、社内にも通報窓口を設けていますが、社内窓口ですと被害者等が相談をためらう可能性があることを考慮し、外部法律事務所にも窓口を設けるなど、会社として適切に対応できるような体制を整えて従業員に案内しています。

企業市民とは、企業として単に利益を求めだけでなく環境や継続性に配慮した責任のある行動を取る、という意味で申し上げました。弊社CCBJIは品格のあるエクセレントカンパニーとして、もちろん法令や規律を守り、コンプライアンスにも注力しながら、長く地域で活躍出来る企業であることを目指しております。

(11) 震災の時にはコカ・コーラ ボトラーズジャパンさんの井戸水を提供いただき大変感謝しています。また、蔵王町と協定を締結しているということで、これからも心強く思っています。

できれば、今回のような堅いイベントではなく、地域の人が気楽に来られるようなイベントにしていただけると良いと思います。

【ファシリテーター】

拍手もありましたので、コカ・コーラ ボトラーズジャパンさんも是非、御検討ください。

## 6 実施の様子



<会場>



<化学物質アドバイザーによる講演>



<工場からの紹介>

### 6 事業者主導型リスクコミュニケーション事業を実施した感想【コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社蔵王工場】

当工場は1996年に蔵王町に竣工し、今年で22年目を迎えました。この間、当工場で実施している環境負荷低減活動や当社の水資源保護活動について、地域の皆様と直接話しをする機会を設けておらず、今回は地域の皆様のご意見や関心事を知る上で良い機会となりました。

「近くに住んでいるがまだ当工場の見学に来たことが無い」との方もおり、近隣住民の方々とのコミュニケーション、情報の発信方法について考える必要があると感じました。

今回は、宮城県の協力のもと、化学物質コーディネーターの講演、ファシリテーターによる進行により、当工場の活動をより分かりやすく、より深く理解していただくことができましたと思います。

今後は、意見交換でいただいたご意見を参考に地域に根差した工場となるよう地域の皆様、行政の方々と意思疎通を図ってまいりたいと思います。

【参考】日本コカ・コーラ株式会社のサステナビリティレポート

<https://www.cocacola.co.jp/sustainability/2017/index>

## 7 協力

事業の開催に当たっては、化学物質アドバイザー派遣事業事務局の御協力をいただき、化学物質アドバイザー及びファシリテーターの派遣を受けて開催しました。